

# 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回の氾濫は「攻駒が残るばか自殺スタイルメイト」の特集です。好作が多く寄せられたため出題数を8題に増やしましたが、残念ながら8番が余詰でした。

①ばか詰 77手「橙」

神無三郎

「橙」										
										1 一二三四五六七八九
										2
										3
										4
										5
										6
										7
										8
										9

持駒 香歩 3

- 78歩、67玉、69香、68角、同香、58玉、47角、49玉、38角、58玉、49角、69玉、58角、78玉、69角、77玉、78歩、87玉、77歩、78成桂寄、88歩、同と、78角、98玉、89角、87玉、99桂、同香成、98角、78玉、89角、69玉、78角、58玉、67角、69玉、58角、78玉、69角、77玉、89桂、同成香、78歩、87玉、87玉、78歩、同角、98玉、89角、87玉、78角、同と、89香、88角、同香、同玉、89歩、77玉、99角、88香、同角、68玉、79角、67玉、69香、77玉、68角、67玉、59角、68と、同香、78玉、79歩、87玉、99桂、77玉、69桂迄77手。

☆この世には「解けた」と思っ  
てからが長い作品がありま

す。本作は正にその典型。  
某氏—どこかで2手縮めなけ  
ればならないのですがわか  
りません。(後略)

須川卓二—46手目の歩合に気  
付かず迷いの森を彷徨いま  
した。玉方の守り駒を減ら  
す方が自然なだけに……

☆正解に辿り着くための最大  
の難関が46手目78歩です。

20手目の同様の場面では移  
動合ですし、はがしの真最  
中にはがさないことも盲点  
になるでしょう。ここでは  
と金を残し、成桂ではなく  
と金に角を取らせた方が結  
局は早くはがせるのです。

作者—77玉↓詰上り77玉77手  
角による4成桂はがしです。

☆更に題名は「右門捕物帖」  
の「七七の橙」と掛けたも  
ので、橙(だいたい)も同

じ音節を重ねた言葉です。  
いや、凝ってますねえ。

☆そして、橙は正月の縁起物  
本作を根性で解き切り、め  
でたく正月を迎えることが  
できた方の感想をどうぞ。  
今川健一—暇と根気で、詰上  
りを考える。あつちらうろ  
うろ、こつちはどうだ。よ  
うやく詰んだら、今年も終  
わり。

②Isardamばか自殺スタイル

メイト 8手 花井秀隆

										1 一二三四五六七八九
										2
										3
										4
										5
										6
										7
										8
										9

持駒 飛角

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				香				
馬				馬		王		
				王				
				角				
				香				

一 二 三 四 五 六 七 八 九

57角、53香、84飛、93角、66王、25飛、54飛、同香迄8手。

【Isardam】同種の敵駒の利き

に入る手を禁止する。この概念は王手にも適用される。

増田智彬 限定打とこのルールでしか有り得ない応酬とで組成された驚きの超高密度手順。

☆初手と3手目はどちらもIsardam特有の受けを見越した限定打。こうして囲い駒を発生させてから、眼目

の一手が飛び出します。

須川卓二 66王が巧みな一手。Isardamの特徴を上手く表現してます。

☆攻方王自身で駒の利きの射線に割り込み84飛の凍結を解除する66王がポイント。後に飛を消去して王の動きを角の射線上に限定します。このとき75王を防ぐために25飛が限定打になります。

作者—こちらは慣れている人には易しいと思うので、氾濫向けではないかもしれませんが。

☆作者からはIsardamで2作の投稿があり、易しい方を使わせていただいたのですが、それでも多くの解答者にとっては難物でした。中にはこんな誤答も……。

某氏—57角、14王、84飛、93角、

66王、15王、14飛、65飛迄、

☆最後までステイルメイトにせず、詰めてしまいました。次々と出現するIsardam特有の手筋が強豪解答者をも幻惑してしまつたようです。

③安南ほか自殺ステイルメイト

ト 12手 神無太郎

3	2	1
歩		
		王

持駒 飛飛角角桂桂

11飛、26玉、21飛打、35玉、13角、34玉、23角、33玉、22桂、23玉、12桂、13玉迄12手。

(最終形)

3	2	1
飛	飛	桂
桂	桂	王

【安南】味方の駒が縦に並ぶ

と、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

市村道生—歯切れの良い好手順。綺麗な終形が印象的。

☆綺麗な初形から綺麗な手順で綺麗な最終形へ。太郎氏らしい洗練された作品です。

岩本修—飛桂角の柱を作るのはすぐ分かつたが、まさか2筋ともとは驚き。

☆安南で駒を3段重ねにする形は過去にも多くの名作を生み、これからも新手順の発掘が期待できる分野です。また、性能変化するルールには見たことのないステイルメイト形が数多く眠っていることでしょう。本作は両分野の持つ可能性の大きさを同時に示す作品です。

原雅彦—角を奪い、飛車合に使うと安南らしくなると思

いましてが。

北村太路―3四歩を置かなければならず作者は悔しいんだろうな、と想像。

☆この2つの短評はスタイルメイトに関する重要な研究課題を示しています。合駒を取る作は⑤で登場しますし、単玉の裸玉で攻駒が残る作品も皆無ではないですが、作例はまだ少数です。

簡潔で明快な仕組みを持つ

本作は、作家陣に創作を促す刺激となりそうですね。

#### ④ばか自殺スタイルメイト

14手 吉田直嗣

36桂、同銀、25銀右、同銀14と、同銀、23銀成、同銀14桂、27龍、57角、同龍、51馬、同龍迄14手。  
原雅彦―玉方の駒を最大7枚しか消去できないことを足

(最終形)

6	5	4	3	2	1
	馬				
				王	
			桂	王	
					香

一二三四五六七八九  
形を想定し、どの駒を捨てて整理すること。そして最終

6	5	4	3	2	1
		馬			
				王	
			銀	王	
				桂	
				桂	
		角			

一二三四五六七八九  
持駒 なし  
掛かりに。

作者―まともに先手駒を捨てていくと9枚捨てるのに18手かかるどころ7枚捨てて不動駒2枚残します。

☆スタイルメイトを解くコツはまず枚数と手数関係を整理すること。そして最終

形を想定し、どの駒を捨てて整理すること。そして最終

るか決まったら今度は順番と方法の組合せを考えます。北村太路―手順前後の綾などがあり楽しめました。

☆9手目14桂が香と桂自身の利きを消す一石二鳥の手。この桂跳ねを境に受方の主役が銀から龍へバトンタッチします。龍を早く動かそうと焦っては失敗です。

増田智彬―小駒から大駒へと手順が盛り上がっていくので解いて楽しかったです。

☆銀と龍の活躍を際立たせているのが双方の不動玉。特に受方の玉が動かない作品は比較的少ないので、上手い仕組みを見つけたら佳作が得られるかもしれません。

皆さんもスタイルメイトに限らず、不動玉の最大捨駒数記録等に挑戦してみてください

るか決まったら今度は順番と方法の組合せを考えます。北村太路―手順前後の綾などがあり楽しめました。

いかがでしょうか？

#### ⑤ばか自殺スタイルメイト

22手 神無三郎

4	3	2	1
	馬	王	
		金	
		金	
		金	
		香	
		桂	
		飛	

一二三四五六七八九  
持駒 持駒 香香香

17桂、28玉、22飛生、23銀、29香、19玉、23香生、28玉、29香、19玉、24香、28玉、29香、19玉、25香、28玉、28銀、同玉迄22手。

(最終形)

4	3	2	1
	馬	王	
		金	
		金	
		金	
		香	
		香	
		香	
		王	

流―金を城壁で囲む手順。合駒限定の仕組みがユーモラス。

市村道生 序盤の飛生で活路

を開く。軽快な趣向。

☆不動の王と金が本当の主役

というユニークな作品。創作当初は遠打や限定移動が中心の生真面目路線だった

本作ですが、趣向中心の戯作路線に転向して好評を博しました。でも成功の要因

はこれだけではありません。

北村太路―趣向の面白さもさることながら、初形の巧み

さと4手目23銀も素晴らしい。

☆4手目の銀合がステイルメイトで持駒を増やす異例の手です。もし、これを別の駒にすると……。

某氏―金合が入ったので作品が一気に締まりました

☆某氏は4手目を23金と解答。痛恨の王手放置です。易しい作でも油断は禁物ですね。

⑥ばか自殺ステイルメイト

30手 吉田直嗣

6	5	4	3	2	1				
				王	銀				
			王	歩	歩	桂			
			歩	桂	香	と			
			桂	香					
			香						

持駒 飛角金銀桂香歩

41飛、12玉、21銀、23玉、24と、同玉、26飛、35玉、22飛生、34玉、35香、45玉、12角、44玉、31王、53玉、33香生、54玉、43飛成、同玉、35桂、52玉、53歩、同玉、23桂生、64玉、53馬、同玉、52金、同玉迄30手。

作者―持駒七種+課題が狙いです。

☆持駒一式で盤上にも攻駒が多数。作者以外の正解者はただ一人でした。

(最終形)

6	5	4	3	2	1				
				王	銀	銀			
			王	歩	飛	桂			
				香	香				
						桂			
						香			

増田智彬―最終形で攻方の駒が王を含めて10枚以上残るので、その形を考えれば後は論理的に解けて解後感が良い作品でした。7種持駒の使い方も巧いです。

☆本作の鍵は15手目31王。攻方王による開き王手です。これは初手41飛の限定打を必要とし、足りない飛の代わりに16飛を使い、開き王手で22まで移動する一連の手順を生み出します。増田氏の短評にもあるように手順構成は極めて論理的なのです。また本作はそれ以外

にも開き王手が多いのが特徴です。23桂は「蓋」なので開き王手になるのは当然ですが、33香は手順の統一性を重視した結果でしょう。

☆正解者が少なかったのは残念ですが、本作はばか自殺ステイルメイトで第5回妖精賞を受賞したこともある吉田氏の確かな手腕を示すものだと思います。

⑦対面ばか自殺ステイルメイト (受先) 33手 もず

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王

6 毎口 飛2香6歩8

(最終形)

		王														
		馬		馬		馬		馬		馬		馬		馬		馬
		歩		歩		歩		歩		歩		歩		歩		歩
		香		香		香		香		香		香		香		香

94角、16香、14角、22飛、同玉、26香、33玉、15歩、24角、36香、43玉、25歩、34角、46香、53玉、35歩、44角、56香、63玉、45歩、54角、66香、73玉、55歩、64角、95歩、83玉、65歩、74角、93飛、同玉、75歩、84角迄33手。

**【対面】**敵駒と向かい合つと、互いに利きが入れ替わる。

**【受先】**受方から指し始める。☆手数に比べ攻駒の数が多いため、単純な手段ではステ

イルメイトにできません。

増田智彬―最終形は歩対角が並ぶ形しかないのでそこから逆算して解きました。完璧な論理に裏付けられた華麗な手順と最終形です。

☆盤上にある最大のヒントは96香です。96香を止めるには95歩。95歩を止めるには

…と考え、二歩禁の利用に氣付けは正解に大きく近付きます。歩と角の対を盤の端から端まで並べれば、二歩禁のせい、どの歩も動けなくなるからです。

市村道生―構図は直ぐ推測できたが、その実現に苦心。粹な手順に心酔。

☆本作の正解者は2名。おおよその最終形を推測できても、正解への到達は容易ではありません。中盤は規則

的な手順で角と歩の対を生

成できますが、導入部や収束は選択に迷う箇所が多く、特に初手の94角は26手目95歩からの収束が見えないと指せません。ここは「自分が作者なら収束はどう作るだろうか」と考えながら解くことが必要です。

作者(抜粹)―詰上りの形を想定するところまでたどり着いてもらえたら、自分としてはとりあえず満足。

☆本作は非標準駒数かつ受先というとつつきにくい作品ですが、問題設定には解答者へのヒントが隠れています。攻方歩9枚と受方角9枚の対応などもその一つ。

⑧のように「手余り可」とすれば攻方の歩を10枚以上にできますし、受方に角以

外の持駒があつても作品は成立します。作者の言葉もありますし、角歩9対に氣付かれた方は0.5問正解を心の中で自分の成績に加算してください。

⑧ **ばか自殺スタイルメイト**  
54手(手余り可)

金子清志(余詰)

持駒 飛2角2金4銀4桂歩18

		王							
		馬		馬		馬		馬	
		歩		歩		歩		歩	
		香		香		香		香	

92歩、81玉、91金、72玉、81銀、71玉、72歩、61玉、71金、52玉、61銀、51玉、52歩、41玉、51金、32玉、41銀、31玉、32歩、21玉、31金、12玉、21銀、11玉、12歩、22玉、23飛、同玉、56角、34飛、13飛、22玉、

## (最終形)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
	金歩	銀歩	金歩	銀歩	金歩	銀歩	金歩	銀歩	角歩
持駒	王	香							
歩									
9									

14 桂、同飛、23 歩、33 玉、  
 11 角、43 玉、22 歩生、42 玉、  
 43 歩、53 玉、42 歩生、62 玉、  
 63 歩、73 玉、62 歩生、82 玉、  
 83 歩、93 玉、82 歩生、13 飛、  
 83 角成、同飛迄54手。

一 二 三 四 五 六 七 八 九

☆出題時に言及した手余り作品。持駒があってもステイルメイトになる意味付けは前局と同様「二歩禁」ですが、本作は性能変化のないルールと簡素形でそれを実現しようとした極めて挑戦

的な作品です。持駒歩18枚の設定も単なる飾りではなく、17枚以下だと38手目43玉のところ、22歩合の非限定が生じるのを防いでいます。右辺での折り返し機構も巧妙で完全ならば受賞級の作品だと思っていたのですが、残念ながら余詰があり4人の解答者全員が余詰解でした。余詰は序で94桂を据える方法と、筋をずらして金銀を置く方法の二つ

があり、作意通りの修正は困難と思われます。ここではより修正困難と思われる後者の解を紹介します。

☆余詰解（市村氏の解）

92 歩、82 玉、91 銀、81 玉、  
 82 歩、71 玉、81 金、62 玉、  
 71 銀、61 玉、62 歩、51 玉、  
 61 金、42 玉、51 銀、41 玉、

42 歩、31 玉、32 歩、21 玉、  
 31 金、12 玉、21 銀、11 玉、  
 12 歩、22 玉、23 飛、同玉、  
 13 飛、22 玉、23 歩、33 玉、  
 11 角、43 玉、22 歩生、52 玉、  
 53 歩、63 玉、41 角、73 玉、  
 52 歩生、63 飛、74 歩、72 玉、  
 64 桂、同飛、73 歩生、83 玉、  
 84 金、同飛、72 歩生、74 玉、  
 83 飛成、同玉迄54手。

市村道生—83龍の終形では2手長。巧緻な手順と美しい終形に感動。トリの秀局。

☆余詰解ですらこの好評。担当の粗檢により、この作品を完全作としてお届けできなかったことを作者と解答者の皆様にお詫びします。

【総評等】

岩本修—彩棋会に行く寝台列車の中で解けた2題だけです。ですが、久々に解答します。

☆ありがとうございます。「氾濫」は難問が多いので解けた分だけでも解答を送ってください。また、感想はすべて作者に送っていますので、コメントのみでも受け付けています。

① 5 2 10 ② 3 2 12 ③ 8 1 8  
 ④ 9 1 7 ⑤ 9 2 6 ⑥ 2 0 15  
 ⑦ 2 0 15 ⑧ 4 0 13

〔解答成績〕（太子5名当選）  
 【全題】 増田智彬  
 【7題】 市村道生  
 【5題】 須川卓二 吉田直嗣  
 【3題】 北村太路 原 雅彦  
 【2題】 岩本 修 今川健一  
 駒井信久 流 和田裕之

【1題】 神谷 薫  
 【0題・コメントのみ】  
 天津包子 岡本 研 佐藤 司  
 武田静山 宮本慎一